

2025年

2025年5月7日

北海道地方 4月の天候

札幌管区気象台
気象防災部 予報課

概況

— 低気圧の影響を受けやすく記録的寡照、かなりの多雨。暖かい空気に覆われやすく高温。 —

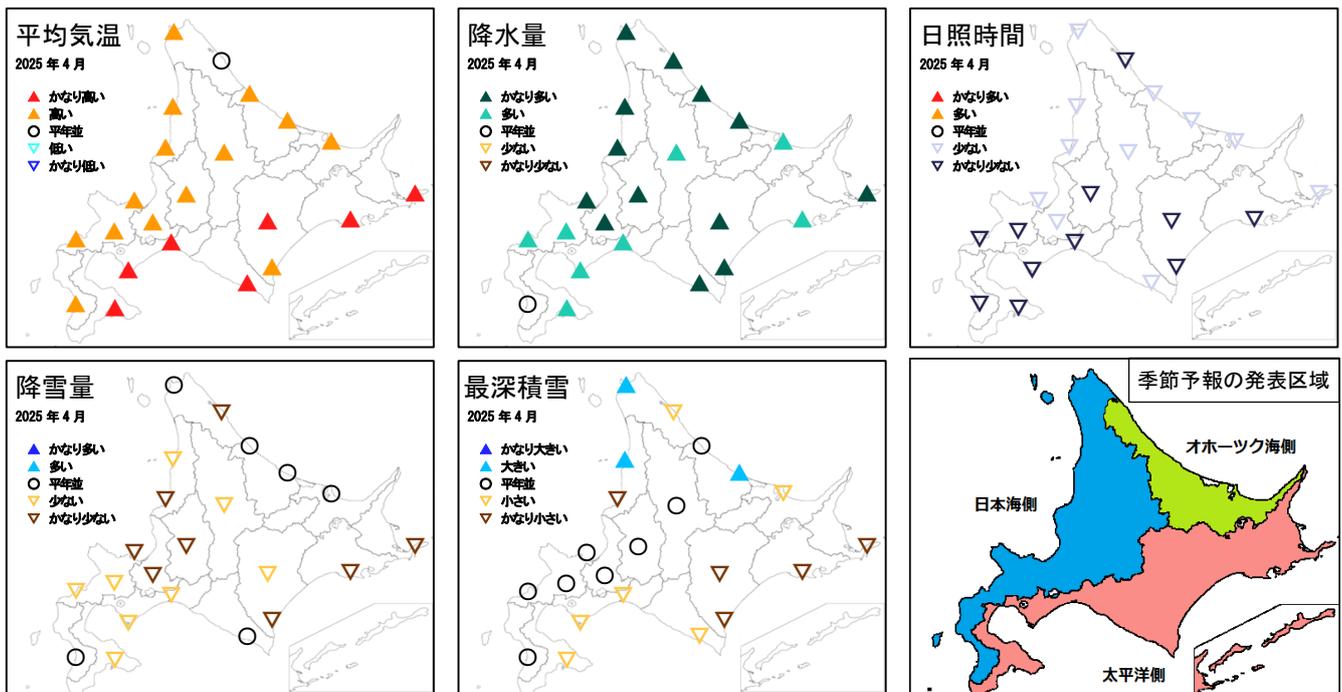
4月は、低気圧が北海道付近を通過することが多かったため、北海道地方の日照時間はかなり少なく、降水量はかなり多かった。太平洋側の日照時間は、1946年の統計開始以降、4月として最も少なかった。また、暖かい空気に覆われやすかったため、太平洋側の気温はかなり高く、日本海側とオホーツク海側で高かった。

上旬：低気圧や湿った空気の影響を受けやすかったため、日照時間は北海道地方及び日本海側でかなり少なく、オホーツク海側と太平洋側で少なかった。低気圧はあまり発達しなかったため、降水量は北海道地方及び日本海側と太平洋側で少なかった。また、暖かい空気に覆われやすかったため、気温は北海道地方及び太平洋側でかなり高く、日本海側とオホーツク海側で高かった。

中旬：13日から16日頃に低気圧が北日本付近をゆっくり通過したため、曇りや雨の日が多かった。このため、降水量は北海道地方及び全ての地域でかなり多かった。オホーツク海側の旬降水量は、1946年の統計開始以降、4月中旬として最も多くなった。日照時間は太平洋側でかなり少なく、北海道地方及び日本海側とオホーツク海側で少なかった。暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は北海道地方及び日本海側と太平洋側でかなり高く、オホーツク海側で高かった。

下旬：低気圧の影響を受けやすかったため、北海道地方及び全ての地域で降水量は多く、日照時間は少なかった。気温は、北東からの冷たい風の影響を受けやすかったオホーツク海側で低かった。29日は北海道の南東海上を通過した低気圧により、帯広空港や中標津町桜ヶ丘など太平洋側東部の平地でも10センチを超える降雪量があった。

階級分布図



※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。

※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。

※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.1	+	187	++	77	--	13	--
日本海側	+1.1	+	180	++	75	--	12	-
オホーツク海側	+0.7	+	218	++	84	-	42	-
太平洋側	+1.4	++	181	++	76	--	0	--

旬の統計値(地域平均)

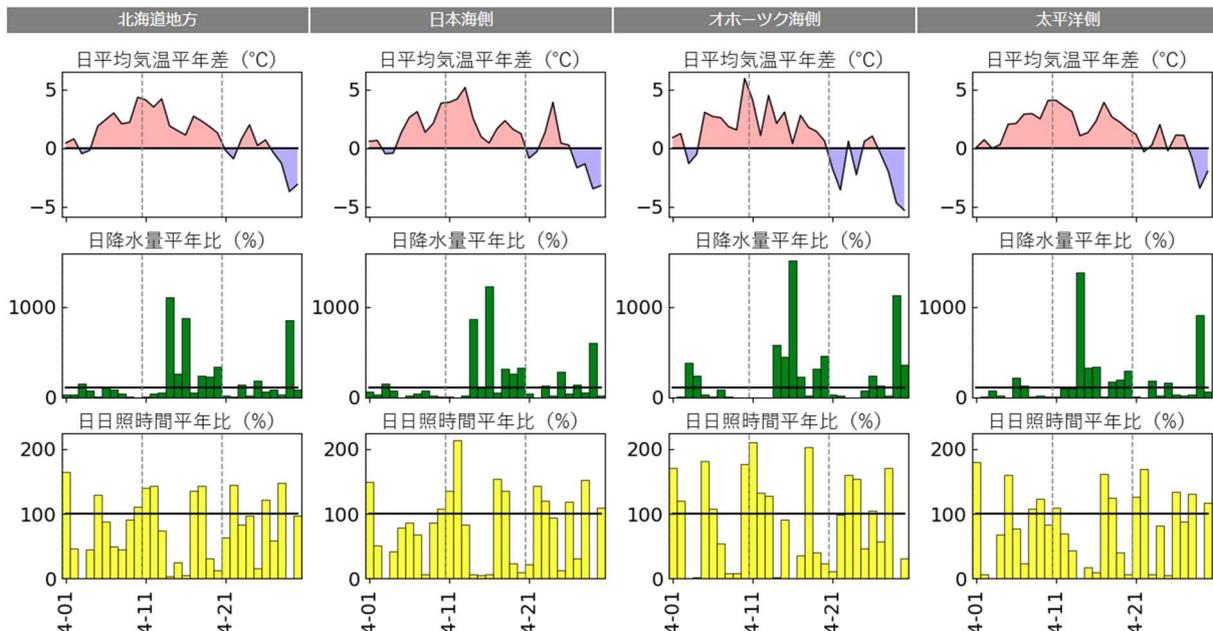
上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.6	++	55	-	76	--	19	-
日本海側	+1.4	+	49	-	67	--	18	-
オホーツク海側	+1.7	+	75	0	82	-	61	0
太平洋側	+1.8	++	53	-	85	-	0	--

中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.5	++	320	++	71	-	0	--
日本海側	+2.5	++	316	++	76	-	0	--
オホーツク海側	+2.2	+	349	++	86	-	0	--
太平洋側	+2.7	++	311	++	57	--	0	-

下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.7	0	163	+	82	-	12	0
日本海側	-0.6	0	147	+	80	-	0	0
オホーツク海側	-1.8	-	205	+	82	-	35	0
太平洋側	-0.2	0	162	+	85	-	0	-

注) ・数値は、地域内の气象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の□、▲、×は、該当する日の地域平均データ作成においてそれぞれ、欠測となった地点を含む場合、欠測となった地点が一定割合以上の場合、全ての地点が欠測の場合であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 °C	平年差 °C	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
札幌	8.5	+1.2	+	110.0	201	++	134.8	77	-	-	6	--	14	22	0
稚内	5.5	+1.0	+	98.5	196	++	138.8	80	-	7	9	0	23	17	+
北見枝幸	4.7	+0.4	0	145.0	257	++	126.7	74	--	2	22	--	39	50	-
旭川	6.9	+1.3	+	81.5	168	+	141.7	84	-	3	15	-	14	33	0
留萌	6.7	+1.2	+	89.0	206	++	147.7	85	-	-	9	--	-	18	--
羽幌	6.7	+1.2	+	131.0	225	++	141.3	81	-	1	8	-	43	26	+
岩見沢	7.1	+1.0	+	109.5	208	++	123.5	70	--	-	8	--	29	32	0
倶知安	5.9	+1.0	+	111.0	165	+	104.9	61	--	2	17	-	115	101	0
小樽	7.6	+1.1	+	94.0	167	++	138.3	79	-	-	7	--	40	42	0
寿都	7.5	+1.0	+	102.0	172	+	119.0	70	--	-	3	-	3	8	0
網走	5.3	+0.8	+	81.0	158	+	151.6	85	-	6	15	0	4	16	-
紋別	5.4	+0.8	+	110.5	242	++	158.3	91	-	14	16	0	29	16	+
雄武	4.9	+0.8	+	94.0	211	++	149.2	84	-	5	17	0	10	22	0
釧路	6.0	+2.0	++	134.5	169	+	140.0	77	--	-	7	--	-	5	--
根室	4.5	+1.0	++	138.5	215	++	149.1	82	-	-	12	--	-	12	--
帯広	7.6	+1.6	++	130.0	216	++	149.1	77	--	-	9	-	-	9	--
広尾	6.4	+1.2	+	203.0	182	++	138.3	76	--	-	16	--	-	24	--
室蘭	7.5	+1.4	++	111.0	159	+	144.3	73	--	-	4	-	-	3	-
苫小牧	7.2	+1.9	++	125.5	166	+	133.6	77	--	-	2	-	-	2	-
浦河	6.3	+1.1	++	130.0	167	++	153.5	82	-	-	1	0	-	1	-
函館	8.5	+1.2	++	116.5	162	+	114.6	62	--	-	2	-	-	1	-
江差	8.6	+0.9	+	66.5	89	0	101.4	60	--	-	1	0	-	1	0

- 注) ・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。
・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
4月	月平均気温の高い方から	第3位	釧路	6.0 °C	+2.0 °C	7.2 °C (2024)	1910
			苫小牧	7.2 °C	+1.9 °C	8.1 °C (2024)	1942
	月降水量(多い)	第2位	北見枝幸	145.0 mm	257 %	150.7 mm (1947)	1943
			羽幌	131.0 mm	225 %	142.5 mm (2011)	1921
		第3位	紋別	110.5 mm	242 %	156.0 mm (2000)	1956
	月間日照時間(少ない)	第1位	江差	101.4 h	60 %	104.7 h (1978)	1941
			函館	114.6 h	62 %	128.2 h (2006)	1890
			倶知安	104.9 h	61 %	115.6 h (1949)	1944
		第2位	広尾	138.3 h	76 %	129.6 h (1964)	1958
		第3位	寿都	119.0 h	70 %	109.9 h (1978)	1901

注) ・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 676-5025